

2019年度 事業計画書

2019年1月1日から2019年12月31日まで

特定非営利活動法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN

1. 事業実施の方針

10年プロジェクトとして開始した「ラオ・フレンズ小児病院(LFHC)」の現地化に向け、ラオス人スタッフのリーダーが自立して管理業務が行えることを目指し、継続したリーダーシップ研修を実施する。フレンズの理念に基づき、ラオスの子供たちへの医療診療活動を継続するとともに、専門性のある分野へのアプローチも継続し、ラオスにおける医療施設のモデルとなるよう日々子供たちのケアにあたる。ラオス国内外における学会や研修会にも積極的に参加し、スタッフのスキルアップに繋げる。近隣地域でのアウトリーチプログラムは、子供達が院内から自宅へ安心して元気な姿で戻ってもらえることを目指し、提供するケアの幅を広げる。政府医療機関との更なる連携体制構築に努め、ラオス全体における医療向上の発展に努める。

「アンコール小児病院」への助成事業については、更なる医療向上を目指して継続して行う。「ミャンマー」に対する助成事業は、現地の協力団体であるゴールドミャンマーと今後の活動の方向性を検討する。国内においては、継続してクラウドファンディングや助成金申請を行い更なる運営資金確保に努める。

また、代表の赤尾看護師の報告会やチャリティ・ガライベント、その他小規模のイベントを企画／開催し、団体の認知度向上を図る。その他、2018年（平成30年）に導入したマンスリーサポーター制度を広く広報し、支援者獲得につなげる。現在の支援者／寄付傾向の評価を行い、更に効果の高いファンドレイジングの予定を立てる。アニュアルレポートとメールマガジンを充実させ、活動の進捗を随時配信する。「ラオスフェスティバル」への参加等で国際的に活動するNGOとも連携し普及に努める。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施予定場所	従事者 予定 人数	受益対象者の範囲 及び予定人数	事業費の 予定額 (千円)
助成事業	アジアの恵まれない子供たちの医療支援を目的とする団体へ助成を行う。	通年	1)アンコール小児病院 2)ミャンマー	110人	1)カンボジア医療従事者 約500人 2)カンボジアの子供、教師 や地域住民の不特定多数 2)ミャンマー・ヤンゴン地 域の不特定多数	43,000
医療施設運営・ 教育・予防事業	「ラオ・フレンズ小児病院(LFHC)」の運営、医療・教育・ 予防事業を行う。	通年	ラオ・フレンズ小児病院	150人	1)ルアンパバーン地区子 供、不特定多数 2)LFHCのスタッフ及びそ の他の医療施設スタッフ 約150名	37,100
スタッフ派遣事業	専門家を派遣し、スタッフや住民 へ医療・予防教育等を行う。 また、学会や研修会へのスタッ フの派遣も行う。	通年	ラオス、カンボジアをはじ めとするアジア諸国	10人	スタッフ約100名及び地域 住民の不特定多数	600
医療物資等運搬 事業	病院のために寄贈された物品や 薬品、備品の輸送手配や、 運搬を行う。	通年	法人事務所、他	6人	医療従事者と患者の不特 定多数	10
普及啓発事業	HPやリーフレット、ニュース レターを活用、イベント等で 広報に努める。	通年	法人事務所、他	30人	寄付者、参加希望者、 不特定多数	17,957